

第1回 科学者委員会 ゲノム編集技術に関する分科会
議事概要

1. 日時：平成30年7月2日（月）10:00～12:00
2. 場所：日本学術会議 2階 大会議室
3. 出席者：阿久津委員、石井委員、大杉委員、島菌委員、高山委員、武田委員、名越委員、
松本委員（Web参加）
欠席者：伊藤委員、苛原委員、佐治委員
その他：有江（上席学術調査員）

（敬称略・五十音順）

4. 配布資料：

資料1 提言「我が国の医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方」

資料2 阿久津委員報告資料：「日本学術会議提言「我が国の医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方」と国の取り組みの現状」

資料3 石井委員報告資料：「ゲノム編集技術の現状と課題」

資料4 大杉委員報告資料：「第24期・第1回、2回、遺伝子組み換え作物分科会議事概要」

資料5 島菌委員報告資料「第一部「いのちと心を考える分科会」におけるゲノム編集関係の研究会議等」

参考・関連記事（平成30年6月25日 日本経済新聞 朝刊より）

参考・ゲノム編集技術に関する分科会委員名簿

参考・ゲノム編集技術に関する分科会 設置提案書

5. 議事：

(1) 役員を選出について

- ・互選により、委員長に武田委員が選出された。
- ・武田委員長より、副委員長として高山委員、幹事として阿久津委員が指名され委員会にて承認された。
（今後議論の方向によっては、幹事又は委員の増員を行う可能性がある）

(2) 武田委員長より、分科会立ち上げの経緯、趣旨について説明があった。

(3) ゲノム編集技術に関する国内外の検討状況について

- ・阿久津幹事より、提言書の概要及びゲノム編集技術に関する国の取組と現状、経緯について報告された。
- ・石井委員より、ゲノム編集技術を用いたヒト生殖細胞系列を用いた研究のあり方、体制のあり方、医療分野、農業分野に共通した諸問題に関する検討について報告された。
- ・大杉委員より、遺伝子組み換え作物分科会の内容とこれまでの議論等について報告された。
- ・島菌委員より、「いのちと心を考える分科会」の内容及びこれまでの議論について報告された。

(4) 国際対応について

- ・国際的動向の情報収集や国内の議論等の情報発信の重要性が確認された。
- ・ゲノム編集国際サミット（香港開催）に、石井委員を分科会又は科学者委員会の委員の立場で派遣検討することに決定した。

(5) 今後の進め方について

- ・次回委員会開催は9月を予定することとなった。
- ・次回委員会において、国際的情勢についての比較などについて高山委員より報告いただくことが決定した。その他報告者については、委員会日程決定後、香川知晶先生、立川雅司先生を候補として検討することとなった。
- ・次回の委員会において、DIY 遺伝子操作、遺伝子ドライブに関して武田委員長より報告を行うこととなった。

以上